



私説・論説室から

● [カテゴリー一覧](#)

『日本人』の姿なく

- 東京新聞の記事
社会 | 特報 | 政治
国際 | 経済 | 運動
TOKYO発 | 核心
- 地域ニュース
東京 | 神奈川
千葉 | 埼玉 | 茨城
栃木 | 群馬
- ニュース特集
イラク情勢
日朝問題
アテネ五輪
04参院選
04首都圏高校入試
小泉首相の一日
特集ライブラリー
- 天災・人災
東海地震
追跡・三宅島災害
- 訃報
- 論説
社説 | 筆洗
私説・論説室から
- スポーツ
F1 EXPRESS
ドラゴンズ

パリのソルボンヌ大学で最近、開かれた欧州とアジアに関する専門家会議「ユーロシズ二〇〇四」に参加する機会があった。

政治、経済、外交、文化など各国から四百人近い研究者が集まったが、残念だったのは日本からの参加者が少なかったことだ。

全体会議でも、日本人は片手で数えるほど。筆者はつい「パネリストに日本人がいないのは、日本の発言力の低下を示していないか」と発言した。

すると、壇上のシアゾン・フィリピン駐日大使は「日本はまずアジアで和解しないとね」。日本の対中、対韓関係が独仏のように成熟していないことを指摘したのだ。「独仏は首脳が半年ごとに会っている。日中韓とは大違いでしょ」

隣に座っていた東南アジア諸国連合(ASEAN)のセベリーノ元事務局長も「日本は欧州アジア会議よりも、アジア・アジア会議が必要かも」と核心を突いた。

それにしても、街には日本人観光客があふれている。壇上にも一人くらい日本代表がいてもいいのに。例えば、外交官とか。

「それはね」と、この種の会議の常連であるセベリーノ氏が小さな声で言った。「日本はガイドラインが厳しいからね。外交官が政府方針から外れて自由に語るのは難しい」

デンマークの大学準教授が分科会で発表した資料には「昇る中国。バイバイ日本」とあった。「二〇五〇年の中国は国内総生産(GDP)で米国を抜く。日本は直接投資の担い手や輸出市場としても、地位が低下していく」との結論だ。

プロ野球速報
グランパス

- 国際
世界の街から
新世界事情
- 生活
暮らし
健康
- 文化・教養
大図解
科学
みんなのデジタル
NIE 教育に新聞を
こどもタイムズ
伝統文化・名流
土曜訪問
ハローペット
囲碁・将棋
第45期王位戦
- 首都圏
みやこ新聞
名湯めぐり
味な老舗
かながわはてな
続・渡良瀬有情

-
- 読者コーナー
発言
政治ホットライン

-
- JWN
北海道新聞
河北新報
新潟日報
神戸新聞
中国新聞
西日本新聞
 - 新聞協会
 - ニュースサイト
 - 情報サイト

-
- トクटक情報

そうだとすれば、知的交流でも、なおさら日本の活力が必要になる。(長谷川幸洋)

ご質問・お問い合わせ - 著作権 - 個人情報 - リンク
Copyright (C) 1995-2004, The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.
本ページ内に掲載の記事・写真などの一切の無断転載を禁じます